

# 第10回 ハイスクール

# 劇王

巨大劇王ダルマは  
誰の手に!?  
審査員はアナタ!!

第9回  
ハイスクール劇王  
『隕石と唐揚げ』より  
(白河高校)

高校生が書き、演じ、演出する  
20分の青春エンゲキ!

優秀作は新潟劇王への推薦も!  
(2025年5月リルーとひあ開演)

## 2025年 3月23日(日)

開会 12:45 (開場12:15)  
戯曲講座 16:15~16:45 (予定)

白河文化交流館 コミネス 小ホール

全席自由 一般・友の会 1,000円 (当日1,500円)  
高校生以下 500円 (当日 800円)

※未就学児の入場はご遠慮ください。



### 発売日

一般・友の会ともに  
2月5日(水) 10:00  
※電話予約は翌日10:00から受付

### チケット取り扱い

白河文化交流館コミネス (福島県白河市会津町1-17)  
・窓 □ 9:00~20:00  
(火曜休館・2月11日開館・翌12日  
振替休館・3月3日点検休館)  
・電話予約 TEL 0248-23-5300  
・ネット予約 <http://cominess.jp/ticket>



巨大劇王ダルマ

約75cm

【お問合せ】白河文化交流館コミネス (指定管理者NPO法人カルチャーネットワーク)

TEL : 0248-23-5300 E-mail : [jigyuu@cominess.jp](mailto:jigyuu@cominess.jp)





# ハイスクール劇王の条件

- 一、上演時間20分以内のオリジナル作品
- 一、出演者3名以内（黒子含む）
- 一、照明と音響は参加団体で操作  
※照明は統一プラン
- 一、3分以内で転換できる置き道具  
持ち道具のみ使用可

## ハイスクール劇王とは

日本劇作家協会東海支部発祥で各地区に派生し、「天下統一」と題した全国大会やアジア大会まで発展した短編演劇大会「劇王」の高校生版。高校生による主体的な創造活動の発展を理念に、劇作・演出・役者・舞台技術の全てを高校生が担うというルールで、福島県白河市では2014年から開催されている。審査員と観客の投票によって選ばれる「劇王」には白河市の伝統工芸品である「白河だるま」を、巨大な劇王だるまとして贈られ、最も優れた高校生劇作家には「高校短編戯曲賞」が与えられる。2023年から俳優賞を新設。

## 観客投票資格について

全ての上演作品を観劇した方のみ投票できます。上演中に途中入退場された方は、投票権は無くなりますのでご注意ください。

# 戯曲審査を勝ち抜いた5作品はこれだ！

(応募総数19作品)

①『家出の前に』作：池田萌衣（岡山学芸館高校：岡山）  
お母さん！今度瀬戸口と、川島と家出するんだけどさー いや、ナンデモナイナンデモナイ！…で、2週間後お母さん家いる？…サトシ君とラブラブデート？はあ、いい加減お父さんのこと君付けて呼ぶのやめてよ。

②『ペルソナ』作：小山千翔（日比谷高校：東京）  
「ペルソナ」とはラテン語で仮面または役柄を意味する。古典劇において役者がかぶる仮面であり、心理学において人間の持つ外的側面である。『この世界はひとつの舞台、男も女も人はみな役者に過ぎぬ』幕がひらく。

③『また明日ここの踏切で』作：田中菜奈（日本体育大学柏高校：千葉）  
海の夜空を初めて見た衝撃は、今でも覚えています。唯一わがままになれる場所でした。この思いを教えてください。もう私の前には居ませんがいつかこの感謝がこの作品を通して届いてくれたらいいなって思います。

④『みつめる』作：熊谷ひかり（福島しあわせ運べるように合唱団：福島）  
「しあわせ運べるように」私達はこの歌を中核とし様々な活動を続けてきました。どんな方に会っても、どんな話を聞いても、最後は1つだけでした。「忘れて欲しくない」私達はずっと、伝え続けます。

⑤『追想の住処』作：松田澤（岡山学芸館高校：岡山）  
気付いた時にはもう遅かった。私は、大きな犠牲を出してまで、この居場所を得たかったのだろうか。今更後悔だなんて、意味ないって分かっているはずなのに。あの時の事が頭にこびりついて離れない。

## 【戯曲審査】

一次審査 ハイスクール劇王実行委員

二次審査 佃 典彦（劇作家、演出家、俳優／劇団B級遊撃隊）

鹿目由紀（劇作家、演出家／劇団あおきりみかん）

○戯曲講座 大会当日、表彰式後開催！ 16:15～16:45（予定）

「ワンシチュエーションで書いてみよう」講師 佃 典彦

## 審査員

### ●佃 典彦

劇作家、演出家、俳優。劇団B級遊撃隊主宰。締切をしっかりと守ることから「名古屋のミラーマン」の異名を持つ。第3回名古屋市文化振興賞。第4回読売演劇大賞優秀作品賞。第50回岸田國土戯曲賞。

### ●今村 修

演劇評論家。元朝日新聞記者。1993年から2010年まで、東京と大阪の学芸部、文化部などで主に演劇を担当。劇評など執筆。国際演劇評論家協会会員。

### ●宮田慶子

演出家。劇団青年座所属。2010～2018年新国立劇場演劇芸術監督。2016年より新国立劇場演劇研修所長。2020年より白河文化交流館コミネス館長。

主催 白河文化交流館コミネス（指定管理者NPO法人カルチャーネットワーク）  
ハイスクール劇王実行委員会

後援 白河市、白河市教育委員会、（公財）白河観光物産協会、福島民報社、福島民友新聞社、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、ラジオ福島、ふくしまFM、（一社）日本演出者協会、（一社）日本劇作家協会、福島県高等学校演劇連盟

協力 しらかわ演劇塾、劇団ユニット・ラビッツ、シア・トリエ

## アクセスマップ



- ・白河ICより車で20分
- ・白河中央ICより車で5分
- ・白河駅より徒歩5分
- ・新白河駅より車で7分
- ・コミネス駐車場より徒歩6分

※カーナビを利用する際は「白河小峰城」「城山公園」に設定されますと駐車場付近に到着いたします。

コミネスをご利用される方は、JR東北本線北側の「コミネス駐車場(313台・無料)」に駐車願います。

